

## 第6次立科町総合計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果について

- 意見の募集期間：令和6年9月26日～10月15日
- 提出があった意見：27件
- いただいた意見は、内容ごとに整理・分類したうえで、ご意見に対する町の考え方を示しています。  
なお、ご意見については、主旨が変わらないよう、一部表現を調整したものがあります。

はじめに (1～14ページ)				
頁	意見等	町の考え方	担当課等	
1	7	3 町の現状と今後の見通し (1) 町の人口の推移と将来の見通し グラフ「▼総人口の推移と将来推計」について 総人口は、日本人のみか、外国人を含むか明記すべきでは。 立科町のHPでの毎月の人口は区分され表示されており、注記してもよいのでは。	【計画の修正】 7ページのグラフの下部に、 「何れも外国籍の住民を含む」と注記を追加します。	企画課
2	7	(1) 町の人口の推移と将来の見通し グラフ「▼人口抑制目標と実績値」について 図表のタイトルは、「人口抑制目標と実績値」は「人口減少抑制目標と実績値」ではないか。	【計画の修正】 グラフのタイトルを、 「人口減少抑制目標と実績値」に修正します。	企画課
3	7	(1) 町の人口の推移と将来の見通し グラフ「▼総人口の推移と将来推計」について 2025年、6,354人(2025年以降は社人研推計値)となっているが、22P「3 人口目標」のグラフは2025年は6,100人となっている。この差異は何か。 (2030,2035, 2040も相異している。)	【計画の修正】 ・グラフの修正等 人口目標は、7ページのグラフ「▼人口減少抑制目標と実績値」は、第5次計画時点の推計であり、平成27年推計を令和2年に時点修正したものです。そして、22ページのグラフ「3 人口目標」のグラフは、令和2年の国勢調査の結果を基に、今回推計しなおした人口目標のため、差異があります。今回の計画では、22ページのグラフの推計を基準として、令和17年の人口目標を5,350人と設定しました。 しかし、ご指摘のとおりページ間で差異があり、わかりづらい表記となっているため、7ページのグラフの数値の推移を、22ページと同じものに差し替えます。また、第5次計画時点の推計数値は7ページのグラフに追記し、説明と注釈を追加します。	企画課

4	9	(2)町の産業 「宿泊・飲食サービス」の記載は、「宿泊業・飲食サービス業」とすべきでは。※図表では「業」表示がされている。	【計画の修正】 「宿泊・飲食サービス」は、 「宿泊業・飲食サービス業」に修正します。	企画課
---	---	--	--	-----

### 基本構想（15～22ページ）

頁	意見等	町の考え方	担当課等	
-	16	<p>【計画の修正】 計画を修正します。次の4項目のとおりです。</p> <p>「1 目指す将来像と人口減少抑制戦略」 (2) 人口減少抑制戦略 文中に、「再生」の文字が4箇所あるが、「再生」の意味は、「そのままでは動かないものをもまた動く状態にすること。」とか「衰え死にかかったものが正気を取り戻すこと。」であるため、そこまで、立科町の産業や地域コミュニティは壊れてはいないと考える。言い回しについて、再考してほしい。</p>		
5	16	<p>(2) 人口減少抑制戦略 (4段落目) 「基幹産業である…子育て・教育・文化・医療・福祉・コミュニティなどのポテンシャルを活かすことで町の活力を再生し、…」の「再生」は修正すべき。</p>	<p>・「基幹産業である…子育て・教育・文化・医療・福祉・コミュニティなどのポテンシャルを活かすことで町の活力を再生し、…」 は、 ・「基幹産業である…子育て・教育・文化・医療・福祉・コミュニティなどのポテンシャルを活かすことで町の活力を高め、…」 に修正します。</p>	企画課
6	16	<p>(左最下の図表) 「地域資源」の「・地域共同体の再生」の「再生」は修正すべき。</p>	<p>「・地域共同体の再生」 は、 「・地域共同体の活性化」 に修正します。</p>	企画課
7	16	<p>(右最下の図表) 「・基幹産業の再生」の「再生」は修正すべき。</p>	<p>「・基幹産業の再生」 は、 「・基幹産業の活性化」 に修正します。</p>	企画課
8	16	<p>(右最下の図表) 「…コミュニティ等の潜在力を活かした再生」の「再生」は修正すべき。</p>	<p>「…コミュニティ等の潜在力を活かした再生」 は、 「…コミュニティ等の潜在力を活かしたまちづくり」 に修正します。</p>	企画課

前期基本計画 (24～53ページ)

1子ども・子育て【基本目標】親が子育てを楽しみ 子供が健やかに育つまちづくり

1-2 出産・子育てに関して家庭における負担の軽減

頁	意見等	町の考え方	担当課等	
9	26	<p>[力を入れて取組むこと] 「子育て家庭の実情を踏まえた様々な負担の軽減や・・・」についてP27の「関連する施策」において、具体的な負担軽減が示されていないのではないか。</p>	<p>27ページの「関連する施策」中、「○妊娠・出産にかかる経済的支援」に、出産祝金、妊産婦の医療費補助等が含まれています。</p> <p>27ページの「関連する施策」中、「○子育て家庭への支援」に、保育園・小中学校児童・生徒の給食費の無償化、未満児の保育料の減免、保育園の使用済みオムツの持ち帰り廃止、保育園の早朝・延長保育・一時保育・土曜日曜保育、小中学校入学時の「通学用カバン」の支給、漢字・英語・数学検定料の補助、小中学校の各種行事における保護者負担の軽減を図るための補助等が含まれており、一括して「○子育て家庭への支援」と標記しています。</p>	<p>町民課</p> <p>こども教育課</p>

2 教育・文化・人権【基本目標】生涯にわたって学び成長できるまちづくり

2-1 こどもの知・徳・体を育む立科教育の推進

頁	意見	町の考え方	担当課等	
10	29	<p>2教育・文化・人権目指すゴール 「…町民の心のよりどころになる、歴史文化財を…」について「…町民の心のよりどころになる歴史文化財を…」と、句読点をとるべきではないか。</p>	<p>【計画の修正】 ・「…町民の心のよりどころになる、歴史文化財を…」は、 ・「…町民の心のよりどころになる歴史文化財を…」に、修正します。</p>	<p>社会教育課</p>

2-2 時代変化に対応した学校運営の推進

頁	意見	町の考え方	担当課等
11 30	<p>[力を入れて取り組むこと] 「また、「蓼科高等学校」の存続に向けた支援を行います。」について</p> <p>本項目を敢えて記載された印象としては、唐突に付け加えたという感じがします。蓼科高等学校については、以前より存続のための支援を強化していることは承知しております。然しながら、昨今の入学生の実態は、立科町民の子女が数名という現状であることも事実であります。P13(4)財政の状況で述べられているように、人口減少にともなう地方交付税の減額、高齢化の加速による多時にわたる支出増等、厳しい財政状況が見込まれる中で、過去、将来において数億円を投じ、投じることから、今後10年の総合計画において蓼科高等学校を論じるならば、</p> <p>① 歴史ある蓼科高等学校であり、今後10年において、町にとっての存続の意義を明確にすることがまず必要ではないでしょうか。</p> <p>② 立科町の子女の入学数が少ない原因の分析と対応策の検討も不可欠と言えます。</p> <p>③ 立科町としては、どのような高校を望むのか、白馬高等学校の特徴ある高校を目指すのか、町の考え方を明確にし、昨今の野沢北・野沢南の伝統校の高校再編の状況もあり、県立高校であるが故に、県に要望する等の行動を起こすことが、存立の前提になるのではないのでしょうか。</p> <p>④ 過去10年今後10年で町民の方の同窓生が減少する中で、立科町の歴史の中に、「蓼科高等学校」が厳然として存立したということを町史に刻むことで、町民に認知され続けることの方が重要であるという考え方も議論すべきではないでしょうか。</p> <p>以上のことを総合計画策定以前に論じ、計画に入れ込むならば、別項目で県立高校としての「蓼科高等学校存続」を挙げるべきではないかと考えます。</p> <p>また、蓼科高等学校に入学しない町民の高校生への町としての教育環境支援等を検討すべきではないでしょうか。</p>	<p>蓼科高等学校は、120有余年の歴史の中で多くの有為な人材を多数輩出し、地域の発展を支えてきた唯一の地域高校です。少子化により生徒の確保が課題となっていますが、地域の活性化のためにも、学校存続が不可欠であります。</p> <p>町は、蓼科高等学校の生徒を地域の子ども達として受け入れ、「地域コース」の設定など、「地域との繋がり」を最大限に活かした学校運営に対し、今後も支援を行い、生徒の確保により学校存続について、更に強く県に要望を続けていきます。</p> <p>義務教育を終えた子どもの支援については、今後、検討していきます。</p> <p>【計画の修正】 ・「また、「蓼科高等学校」の存続に向けた支援を行います。」は、 ・「また、<u>地域高校である「蓼科高等学校」の存続は、地域の活性化のためにも不可欠であり、学校存続に向けた支援を行ってまいります。</u>」に、修正します。</p>	こども教育課

4 産業振興【基本目標】地域資源と人材が価値を生み出す産業のまちづくり

4-2 地域を支える商工業の振興

頁	意見	町の考え方	担当課等
12	38 [力を入れて取り組むこと] 「…後継者の育成に努め、商工業の振興を…」について ① 事業承継や後継者のマッチング等の支援とありますが、P39の「関連する施策」の中に、この点に対しての施策がない。	431の主要施策の「○商工会等と連携した中小企業の人材育成、経営相談、新規起業への支援」が該当いたします。	産業振興課
13	38 ② 観光業においても(上記と)同様の問題があり、大きく言えば、観光を業も商工業に含まれておりますが、現状認識として、観光振興に記載するのか、観光業も含む商工業とするか検討いただきたい。	【計画の修正】 4-2の[力を入れて取り組むこと]について 「…後継者の育成に努め、商工業の振興を…」 は、 「…後継者の育成に努め、 <u>観光業も含め</u> 商工業の振興を…」 に修正します。	産業振興課

4-4 安定した経済効果を生み出す観光の推進

頁	意見	町の考え方	担当課等
14	38 [現状 課題]「…観光の新陳代謝の促進が…」について 観光の新陳代謝の表現は何を意味するか分かりにくい、施設か、経営者か。	【計画の修正】 「 <u>観光の新陳代謝</u> …」 は、 「 <u>それらの新陳代謝</u> 」 に修正します。	産業振興課
15	38 [力を入れて取り組むこと] 「…外国人観光客を受け入れられるよう、中長期滞在プログラムの造成、誘客プロモーション…」について ① 中長期滞在という表現は、短期滞在に対しての、中期又は長期の意味でしょうか。	当町の観光施設は短期滞在が多い傾向にありますので、ご意見のとおり、短期滞在者を中期又は長期滞在へ促すことを指しております。	産業振興課
16	38 ② 外国人受け入れのためには、看板等の外国語表示の整備、外国語による情報発信、各施設の外国人受け入れのための施設整備、支援も同時並行で取り組む必要があるのでは。	ご指摘のとおり、インバウンド受入に対する対応は必要になりますので、40ページの「DX事業の対象とする施策」の項目に、「訪日外国人対応の外国語表記とデジタルサイネージ導入」施策を記載しています。	産業振興課

関連する施策

頁	意見	町の考え方	担当課等
17 39	「422 ○陣内森林公園の施設管理と活用の推進」について P40の関連する個別計画に陣内森林公園マスタープランがあり、当該マスタープランに基づく活用とすべきでは、また、本プランは公表されているのでしょうか。	公表はしておりません。 策定から10年以上経過しており、町の方針も変わってきておりますので、原案のとおりとさせていただきます。	産業振興課
18 39	「432 ○勤労者福祉の向上」について 町でできる施策は何でしょうか。	小諸・北佐久勤労者互助会の活動が主な施策となり、町も互助会に対して支援を行っております。	産業振興課
19 40	「441 ○地域の強みを生かした観光エリアの形成とメニューの開発」について メニューと記載されているが、単にメニューではわかりづらく、施策にならないのでは。	観光地の自然を活かしたアクティビティメニューの開発を指しております。現在具体的なメニューを模索をしているところでありますので、記載のとおりとさせていただきます。 なお、「メニュー」という表記については、現在「プログラム」とするのが一般的との意見が審議会でありましたので、次のとおり修正します。 【計画の修正】 「○地域の強みを生かした観光エリアの形成とメニューの開発」は、 「○地域の強みを生かした観光エリアの形成とプログラムの開発」と修正します。	産業振興課

5 建設・環境 【基本目標】快適で暮らしやすい生活環境を整えるまちづくり

関連する施策

頁	意見	町の考え方	担当課等
20 43	「54 公共交通の維持・充実」、「542 観光を支える公共交通の維持確保」について タクシー台数の少ない現状を考えるならば、ライドシェアの導入検討を加えるべきでは。	公共交通の基本方針は、令和6年3月に策定した「立科町地域公共交通計画」により推進しております。ライドシェアについては、まだ計画になく、実施の予定はありません。今後、この計画に基づき、町民の交通手段、状況等の調査・分析を進める中で、需要があると判断した際には、計画に記載し、具体的に検討していくことになります。	企画課

6 コミュニティ・防災 【基本目標】コミュニティが支える安心感と魅力のあるまちづくり

6-1 「住みたい・住み続けたい」まちづくりの推進

頁	意見	町の考え方	担当課等
21 45	「6-1「住みたい・住み続けたい」町づくりの推進」について [現状と課題]「…過去5年間を見ると、転出超過となっております」 転出超過ということは、空住宅、空き賃貸住宅が存在していることを意味し、移住住宅は充足しているとも考えられますが。	当町の人口は減少していますが、世帯数に大きな変化はなく、住宅が充足している状態とはなっておりません。また、空き家については、町内に数多くありますが、空き家バンクへの物件登録は、過去3年間で年間平均10件ほどと、空き家全体から見れば少ない状況にあります。空き家バンクの物件登録数を増やすため、空き家の片付けと改修に対する「空き家利用促進補助金」を設けており、空き家をご活用していただけるよう、周知等に一層努めてまいります。	企画課
22 45	「6-1「住みたい・住み続けたい」町づくりの推進」について [力を入れて取り組むこと]「…移住促進住宅を建設する他、…」 町は、移住者の増加を目指すのか、住み続けたい定住者の増加を願うのかを明確にし、移住促進住宅の建設も、将来的に定住したい人のための住宅となるような制度設計による建設を考慮すべきでは、例えば売買条件付き賃貸住宅等。	この総合計画の基本構想、「人口減少抑制戦略」に「住んでよし・訪れてよし」と掲げたように、住み続けたい定住者と移住者の両方の増加を目指しております。 また、移住促進住宅の整備の財源には、過疎対策事業債等の起債も含まれるため、売買条件付きの賃貸住宅については、現在のところ考えておりません。	企画課

6-3 全世代が集える複合施設の整備

頁	意見	町の考え方	担当課等
23 46	[現状と課題]「中央公民館等の更新に合わせ、複合施設の整備が予定されて…」について 現在人口が10年後には1,000人強の減少が予測されている現状において、将来の町の姿を描いたうえで、多額の起債や基金の取り崩しを要する施設であり、全町民的な議論なくして、「予定している」と記載することには疑問を感じますし、交流拠点施設の整備前提の計画は今一度見直すべきでは。 また、本件は収益を生む施設でないことから、住民投票により意見集約を図るべき案件とも考えられますが、町の考えは。	中央公民館周辺施設の整備については、これまで開催してきた「まちづくり創生会議公共施設部会」の提言や、町民の意見を基本として検討して参りました。 今後、中央公民館周辺施設の基本計画等の策定を進めてまいります。 現在の施設は、いずれも老朽化していることから、修繕を重ねて維持していく際のコスト等を勘案し、集約化していくことを検討しております。具体的な計画はこれからとなりますので、基本計画等の策定を進める中で、町民の皆さんのご意見をお伺いすることを検討しておりますが、住民投票の実施は予定しておりません。	企画課
24 47	「63 地域づくりの拠点施設の整備」、 「○複合施設のあり方の検討」について 複合施設整備の必要性・あり方を全町民的議論の上での検討を。		

関連する施策

頁	意見	町の考え方	担当課等
25 47	「612 交流による関係人口の増加の推進」について 「○学生アイデアソンイベントの実施」について、学生が参加できるのは、アイデアソンに限らず、学生が町内で活動できる場として施策を検討して欲しい。	【計画修正】 「○学生アイデアソンイベントの実施」は、 「○学生等への地域協働活動等の推進」に修正します。	企画課

7 行財政【基本目標】未来につなぐ効果的・効率的な行政運営

現在推進しているDX推進事業について

頁	意見	町の考え方	担当課等
26 53	所有施策「多様な働き方を生み出すテレワークの推進[アウトプット指標]」について 指標の【アウトプット】の「※5自治体の合計」の注記があるが、町の総合計画としては、町の目標値を明確にし、5自治体の数値は参考にとどめるべきでは。 また、[アウトプット指標]の目標年度が記載されていないが。	【計画の修正】 デジタル田園都市国家構想交付金事業の交付金申請を広域の5自治体連携で申請しているため、広域連携している5自治体の合計の目標値となります。標記はわかりやすくなるように修正します。 【アウトプット指標】については次のとおり修正します。 ・目標年度の「(令和7年度末)」の記載を追加します。 ・「5自治体」を、 「広域連携」に修正します。	企画課

○その他の事項

頁	意見	町の考え方	担当課等
27 -	・総合計画の評価について 【令和7年度の実績については、令和8年度から総合戦略策定委員会で評価をしていくが、その評価についての要望】 総合評価の評価方法について、令和7年度内に「総合戦略評価委員会」で検討し、決めていただきたい。	ご意見として伺い、今後、総合戦略評価委員会で検討します。	企画課